



祝 鼠ヶ関小学校創立150周年

鼠ヶ関小学校は明治7年9月25日に「蓬莱学校」として蓬莱山曹源寺を借りて開校してから令和6年で150周年を迎えました。現在の児童数は50名。児童会の縦割り班は「蓬莱班」、全校遠足は「蓬莱遠足」、学校だよりは「蓬莱だより」と蓬莱学校からの伝統が息づいています。記念式典の他、記念植樹、マグロ解体食育教室、記念講演会が行われました。現在、学校の近くでは日本海東北自動車道の建設が進められ、令和9年4月には新しい道の駅がオープン予定です。海も山も川もある恵まれた自然の中で、これからも永く歴史が刻まれていきますように。

【学校の沿革】

明治7.9.25	「蓬莱学校」として蓬莱山曹源寺を借りて開校
昭和22.4.4	鼠ヶ関小学校と改称
昭和39.6.16	新潟地震
昭和40.12.25	鼠ヶ関字横路620に校舎新築
昭和54.4.1	巖川小学校閉校、小岩川児童が本校通学
平成元.4.1	小名部小学校と統合
平成21.3.23	新校舎完成
平成28.9.11	全国豊かな海づくり大会にて全校児童発表
令和元.6.18	山形県沖地震発生、地域住民270名が体育館に避難

↑創立150周年記念式典資料から抜粋



←150周年記念事業
マグロ解体食育教室
6/25の様子
このあと、刺身やお寿司を作って食べました。

令和7年2月23日(日)7年ぶりに「小国八幡宮弓射神事」開催

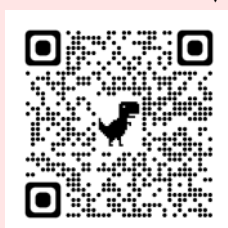
「小国村では古来、毎年正月、八幡様の神事として弓の礼射を行い、「弓射」(ゆみいれ)と呼んできており、弓射の当日は早朝に矢取役の者が正装して「今日は八幡の神事いたします。ご見物なされましょう。」と各戸を触れ歩きました。この行事は単なる「弓祭」とか「弓道」とか「競射」というような道を主としたものではなく、あくまで神を崇め慰めるための神事です。」(小国八幡宮弓射神事パンフレットから)

戦時中に一時途絶えましたが、住民の熱意により昭和33年に復活し、昭和61年に「温海町無形民俗文化財」に指定され、今回は平成30年以来の執行となりました。

今年は袴姿の射手4名が雪の降る中、肩肌脱ぎの格好で約27メートル先の的を狙い、五穀豊穡や家内安全を祈願しました。的に命中して、判定の采降り役の「あた〜り!」の音が響くと、観客から拍手が送られました。当日の様子はYouTube鶴岡市公式チャンネル#つるとぴをご覧ください。

鶴岡市公式YouTubeチャンネル

▼こちらから



令和7年2月2日(日)「鍋倉雪灯籠祭」に首都圏の若者が参加

鍋倉集落は現在9世帯19人。雪道の車での来場に配慮し、PRは控えめにしてきましたが、15回目となる今回はロコミで子ども連れの家族も訪れ、「温海の関係人口を増やす会(略称:あつかん)」の若者が11人協力し、にぎやかに開催されました。「あつかん」は横浜市在住の伊藤大貴(ひろき)さんが、3年前に東京大学のフィールドスタディ型政策協働プログラムで温海地域を訪れたのをきっかけに今年度温海の若者たちと立ち上げたものです。

当日は住民といっしょに雪灯籠やかまくらを制作し交流を深めました。

あつかんの活動(Facebook)はこちらから ▼



ご存じですか温海の在来作物

在来作物とは、ある地域で世代を超えて栽培され、人々に親しまれてきた野菜、果物、穀類などです。

ユネスコ食文化創造都市である鶴岡市内には約60種類あります。温海地域で栽培されているものの一部を紹介します。

★早田ウリ

早田集落のみで栽培されている在来作物です。十条の縞と5つの心皮(種の入る部屋)を持つ珍しいまくわうりです。プリンスメロンのような風味と食感です。道の駅あつみしゃりんでは早田ウリアイスを楽しめます。

★與治兵衛きゅうり

小国集落のみで栽培されている在来作物です。大正時代に村上へ養蚕を学びに行った際に種を譲り受け栽培してきたものです。一般のきゅうりより、太く、みずみずしく、ぱりぱり、サクサクした食感が特徴です。令和6年6月に與治兵衛きゅうり保存会が発足しました。収穫期の7月中旬から9月中旬には道の駅あつみしゃりんでは販売される他、一部の旅館、民宿で提供されている貴重な作物です。

★鼠小、あつみ小では「焼畑あつみかぶ」を学んでいます

温海地域の小学校では毎年、温海の在来作物である「焼畑あつみかぶ」を焼畑農法で育てています。温海町森林組合と温海庁舎産業建設課が協力し、焼畑で作られる温海かぶをとおして、森林の役割も学んでいます。

収穫したかぶは保護者とともに漬け込みも行っています。



與治兵衛きゅうり



早田ウリ

新酒「摩耶山」発売中！

温海地域オリジナルの日本酒「摩耶山(まやさん)」が発売から20周年を迎えました。

「摩耶山にごり酒」、「摩耶山しぼりたて」を令和7年2月20日から温海地域の各酒店で販売しています。

摩耶山の麓にある越沢地区の湧水・郷清水(ごうしみず)の水で栽培された「はえぬき」を酒米にして醸造しているお酒です。3月8日、温海温泉で開催された「摩耶山新酒まつり」は天気にも恵まれ、たくさんのお客様でにぎわいました。



(商品のお問い合わせ)
温海酒徳会会長の萬来屋酒店
電話0235(43)2030
道の駅あつみしゃりん
電話0235(44)3211